

|          |   |
|----------|---|
| 研究<br>主題 | 一人一人の思いや願いを尊重し合える学級づくり<br>ー学級活動における探究の対話（p4c）の実践とICTを活用した話し合い活動の工夫を通してー |
|----------|---|

## 第6学年学級活動学習指導案

指導月日 令和4年10月26日  
所属校名 白石市立大平小学校  
氏名 齋藤 誠眞

### 1 題材名「白石市観光ガイドを通して、4・5年生と交流を深めよう」

#### 2 題材の目標

- (1) 白石市観光ガイドを成功させるために他者と協働して取り組むことの意義を理解できる。また、合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けることができる。  
〔知識及び技能〕
- (2) 白石市観光ガイドを成功させるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践できる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- (3) 白石市観光ガイドを成功させるために、見通しを持ったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組むことができる。〔学びに向かう力、人間性等〕

#### 3 題材観

本題材は、小学校学習指導要領(平成29年告示)で示されている学級活動の3つの内容のうち「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」に該当し、その中の「ウ 学校における多様な集団の生活の向上」の内容を受けて設定した。

第6学年になると、最高学年としてリーダーシップを発揮しようとする意識や態度が育ち、役割や責任を自覚して活動するようになる。一方で、思春期特有の不安定な感情がより大きくなり、人間関係を悩んだり、先頭に立って活動することに消極的になったり、中学校生活への不安を抱きながら生活したりする児童も少なくない。自分への自信を持てるようにするためには、社会的役割や責任を果たす体験やより高い目標を持って様々な役割を担う体験を通して、困難を乗り越えて目標を達成できるようにしたり、互いが認め合えるようにしたりすることが大切であると考え、本題材を設定した。

本題材は、児童が考えた議題案の一つとして挙がっていたものである。本学級の児童は、7月の修学旅行において、宮城県松島高等学校の生徒に松島町の観光名所を案内してもらいながら学習するという貴重な体験をしている。そこで、11月下旬に、総合的な学習の時間の一環として、4・5・6年生合同で実施する「白石市の観光ガイドができるようになろう」において「修学旅行の経験を生かせないか」という思いが高まり、議題として選定された。「白石市の観光ガイドができるようになろう」は、6年生が4・5年生に白石市の産業や施設について説明する活動を通して交流を深めると共に、白石市のよさについて考える学習である。そこで、今回は「4・5年生と交流を深めるためには、どうしたらいいのか」を話し合うことで、学年の枠を超えて人間関係をよりよく形成していく態度や、様々な集団活動に積極的に参画しようとする態度を養っていく。また、他学年のことを考えながら、話し合っ合意形成を図り実践することを通して、学級の形成者の一人であると同時に学校の形成者の一人でもあることを実感できるようにする。

#### 4 児童の実態〔第6学年1組16名〕

本学級の児童は、音楽発表会や運動会などの学校行事、日々の児童会活動において、最高学年とし

てリーダーシップを発揮し、下級生を導いている姿が見られている。学級においても、学級目標「小学校生活最後の1年～Re：スタート中学校への道～」を意識し、友達と協力して一生懸命取り組む姿が見られる。7月に実践した学級活動「16人の絆をより深める集会活動しよう」では、生活班や学級全体で合意形成を図りながら決定した「会話型心理ゲーム」を楽しく実践することができた。

7月下旬に実施した第2回学級力アンケートでは、これまでの指導の成果と課題が見られた。話し合い活動の基盤となる「学習」や「聞く姿勢」について肯定的回答をした児童の割合が、第1回の結果に比べて高くなり、安心して話し合い活動を行うための素地を形成されてきたと考える。一方で「尊重」について肯定的回答をした児童の割合は6人であり、互いの考えを認め合い、受け止め、よさを生かそうとする姿勢に課題が見られた（図1）。否定的回答をした児童の理由としては「自分が友達をからかってしまうことがあるから」や「4月に比べて良くなっていると思うが、『まだ尊重できていない』と思える場面が見られたから」などが挙げられた。以上の結果から、尊重し合える学級づくりを目指したいと考えた。

### 5 指導観

事前の活動（図2）においては、計画部が中心となり議題を決定し、朝の時間を利用して探究の対話（p4c）（以下探究の対話）を実践する。探究の対話とは「白石市教育方針と重点取組」にも盛り込まれている教育手法であり、一人一人が互いを尊重して多様な考えを共有することのできる心や集団の絆も育み、安心感（知的セーフティ）のあるコミュニティづくりの実践につながっていく。また、デジタルホワイトボードの付箋機能を活用して、少人数で考えの出し合いを行う。そうすることで、発表が苦手な児童も安心して話し合いができるようにさせたい。

本時の活動（学級会）においては、学級全体で意見の比べ合いから行うことで、時間を有効に活用し

て、話し合いを充実させたい。話し合いでは、探究の対話の場面を想起させ、友達のを考えを受け止めたり、認めたりするよさを確認しながら進める。その上で、学級会では折り合いを付けて集団としての意見をまとめたり、合意形成を図ったりするという目的意識を全体で共有する。

学級会の終結部分や事後の活動では、学んだことを日常生活に生かせるように、学級会ノートに振り返りを書かせる。視点を与えて書かせ、教師がコメントを記入することで価値付けを行い、次の話し合いや学校生活の様々な場面で生かすようにさせたい。

### 6 研究主題との関連

(1) 研究主題 一人一人の思いや願いを尊重し合える学級づくりを目指して

ー学級活動における探究の対話（p4c）の実践とICTを活用した話し合い活動の工夫を通してー

(2) 研究主題について

「尊重し合える学級」とは「自分と異なる意見や少数の意見も尊いものとして重んずる学級」と定

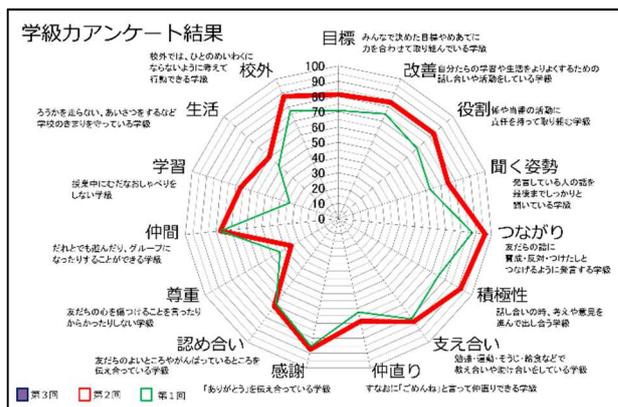


図1 第2回学級力アンケート結果（太線が第2回の結果）  
（NEW学級力向上プロジェクト：今宮信吾、田中博之）

図2 学級活動(1)における指導過程の例示  
（小学校学習指導要領解説特別活動編）

義する。

(3) 主な手立て

① 「探究の対話」の実践

朝の時間を利用して、学級会までに、15分間の取組を2回行う。決定した議題に対して、児童が主体的に問いを立てて話し合う活動を行い、議題の理解を深めさせる。また、1週間に2回、日常的に実践することで友達の考えを受け止め、認め合い、尊重することのよさを実感させる。「コミュニティボールを持っている人だけが話すことができ、他の人は静かに聞く」「パスをしてもよい」というルールの下で対話を行うため、安心感につながると考える。

探究の対話は学級全体で合意形成することを目的としない。一方、学級会では、学級全体で合意形成を図りながら実践することを決定するため、2つの活動の目的に違いがあるが、学級全体で合意形成を図るためには、日頃から友達を尊重しようとする態度を育む必要があると考える。学級活動の事前の活動に加え、日常的にも様々なテーマで探究の対話を実践することで、尊重しようとする態度の育成につながり、合意形成を図る際にも生かすことができると考える。

② ICTを活用した話し合い活動の工夫

学級全体での話し合いを行う前に、事前の活動として、4人1組の生活班で話し合いを行う。その際、デジタルホワイトボードの付箋機能を活用して、考えを出し合い、付箋を整理しながら比べ合い、小集団としての意見をまとめる。ICTを活用することで、発言することが苦手な児童も自分の考えを表現することができる。また、学級全体で合意形成を図ることは簡単なことではない。そのため、まずは小集団で合意形成を図る経験を重ねることで、学級全体での合意形成を図ることにつなげていきたい。学級全体での話し合いでは、それぞれの生活班から出された意見を比べ合うことから始めることによって、話し合いに時間を掛けることができ、内容を深めることができると考える。

7 題材の指導と評価の計画

(1) 題材の評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|---|---|
| 白石市観光ガイドを成功させるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。また、合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。 | 白石市観光ガイドを成功させるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。 | 白石市観光ガイドを成功させるために、見通しを持ったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 |

(2) 学級活動年間計画（概要）

| 学期  | 月  | リスミ学級会                        | 主な評価規準  | 評価方法      | 総合的な学習の時間との関連                 |
|-----|----|-------------------------------|---|-----------|-------------------------------|
| I期  | 4  | ①「学級目標を決めよう」                  | ・学級目標について、考えている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>                 | 作文、観察     | 「わたしたちができること」<br>(防災)         |
|     | 6  | ②「学級の生活を振り返ろう」                | ・合意形成の図り方を理解している。 <b>【知識・技能】</b>                        | 学級会ノート、観察 | 「自分の未来探しの旅へ」<br>(志)           |
|     | 7  | ③「16人の絆をより深める集会をしよう」          | ・合意形成ができ、協働して集会を実践している。 <b>【思考・判断・表現】</b>               | 学級会ノート、観察 |                               |
| II期 | 9  | ④「学級の生活を振り返ろう」                | ・学級全体に、自分の考えを伝えている。 <b>【思考・判断・表現】</b>                   | 学級会ノート、観察 | 「感謝の会に向けて」<br>(地域)            |
|     | 10 | ⑤「白石市観光ガイドを通して、4・5年生と交流を深めよう」 | ・他学年のことを考えながら、話し合っ合意形成を図り、協力して実践している。 <b>【思考・判断・表現】</b> | 学級会ノート、観察 | 「白石市の観光ガイドができるようになろう」<br>(地域) |

|    |                   |  |              |                   |
|----|-------------------|--|--------------|-------------------|
| 12 | ⑥「感謝の気持ちを伝えるためには」 | ・合意形成を図り，協力して実践している。【思考・判断・表現】                           | 学級会ノート，観察    | 「6年間を振り返って」(志)    |
| 2  | ⑦「最後の集会をしよう」      | ・最後の集会活動を成功させるために，自分にできることを考え，実践しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 | 学級会ノート，作文，観察 | 「情報を集めて発表しよう」(情報) |

※「リスミ学級会」とは，児童が学級目標を基に考えた「リスタートミーティング」から名付けた学級会の名前

(3) 題材計画（1時間扱い）

|       | 日時                    | 計画部の活動                              | 学級全員の活動                      | 評価規準                                    | 評価方法           |
|-------|-----------------------|-------------------------------------|------------------------------|---|----------------|
| 事前の活動 | 10月3日<br>休み時間         | ・議題案を確認し，選定する。                      |                              | ・進んで議題を考えている。【主体的に取り組む態度】               | 提案カード，観察       |
|       | 10月5日<br>休み時間         | ・活動計画を作成する。                         |                              | ・計画部の役割を理解している。【知識・技能】                  | 活動計画，観察        |
|       | 10月6日<br>18日<br>朝の時間  | ・探究の対話を運営する。                        | ・探究の対話を行う。<br>手立て①           | ・多様な意見を認め合い，対話できている。【思考・判断・表現】          | 観察             |
|       | 10月17日<br>帰りの時間       |                                     | ・デジタルホワイトボードに，考えを書く。<br>手立て② | ・デジタルホワイトボードの付箋に自分の考えを入力している。【思考・判断・表現】 | デジタルホワイトボード    |
|       | 10月20日<br>朝の時間        | ・出された意見を短冊に書く。                      | ・生活班で，意見をまとめる。<br>手立て②       | ・小集団で合意形成を図っている。【思考・判断・表現】              | デジタルホワイトボード，観察 |
| 学級会   | 10月26日<br>2校時<br>(本時) | ・学級会を運営する。                          | ・学級会を行う。<br>手立て②             | ・他学年のことを考えながら，話し合っている。【思考・判断・表現】        | 学級会ノート         |
| 実践    | 11月15日<br>2～6校時       | ・総合的な学習の時間として，白石市観光ガイドを4，5年生に向けて行う。 |                              | ・協働して実践している。【思考・判断・表現】                  | 観察             |
| 事後の活動 | 11月15日<br>帰りの時間       | ・計画部としての活動を振り返る。                    | ・振り返りを行う。                    | ・実践を振り返り，次の活動に生かそうとしている。【主体的に取り組む態度】    | 学級会ノート         |

8 本時の計画

(1) 目標

白石市観光ガイドを通して，4・5年生と交流を深めるための工夫や取組について話し合っ、合意形成を図ることができる。

(2) 本時の指導に当たって

以下の手立てを講じて，本時の指導に当たる。

①探究の対話の実践を生かした合意形成の工夫

導入部分では，事前の活動において実践した探究の対話を想起させる。電子黒板を用いて，探究の対話を実践した時の写真や映像を提示し，友達の考えを尊重することのよさを確認する。その上で，本時の話し合いにおいては，集団としての意見をまとめ，合意形成を図るという目的意識を確認する。

終結部分では，友達の考えを尊重しながら合意形成を図った場面や児童を取り上げ，価値付けを行うことで，探究の対話を実践してきたことのよさを実感させたい。

②ICTを活用した話し合いの工夫

導入部分では，デジタルホワイトボードにまとめた各班の意見を電子黒板で提示することで，事前の活動における話し合いを想起させ，選ばれなかった意見にも触れることで，学級会での話し合いの意欲

につなげたい。

展開部分では、話合いの流れや合意形成のポイントを電子黒板で提示し、計画部の児童が必要に応じて、操作できるようにする。そうすることで、児童が主体的に話合いをすることができたり、視覚的理解を促すことができたりし、児童全員が話合いに参画できるようにする。

(3) 指導過程

| 段階        | 学習活動<br>◇計画部の進行<br>◆予想される児童の反応  | 指導上の留意点   | 評価  |
|-----------|---|---|---|
| 導入<br>3分  | 1 事前の活動を振り返る。<br>2 計画部が自己紹介を行う。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学級会コーナーの掲示物や電子黒板を活用して事前の活動を想起させることで、計画部や学級全体の活動を称え、話合いへの意欲を高める。</li> </ul>   |   |
| 展開<br>32分 | 3 議題を確認する。<br>白石市観光ガイドを通して、<br>4・5年生と交流を深めよう。<br>4 提案理由を確認する。<br>この機会を生かし、4・5年生と交流を深めるための工夫を話し合うことで、白石市観光ガイドがより充実した活動となるから。<br>5 決まっていることの確認をする。<br>◇ 校外学習は、11月15日2～6時間目に行います。<br>6 話合いのめあての確認をする。<br>一人一人の思いや願いを尊重しながら、納得する話合いをしよう。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>提案者の思いや願い、学級全員の議題であることを確認する。</li> <li>日時や場所については、あらかじめ計画部で決めておく。</li> </ul>  |   |
|           | 7 話合いを行う。<br>◇ どのような工夫や取組を行えばいいでしょうか。<br>◆ ガイドを行う際、クイズを出して4・5年生に楽しんでもらう。<br>◆ ガイドブックを作成し、配付する。<br>◇ 意見を出してください。<br>◆ ガイドにクイズを取り入れることに賛成です。理由は、クイズ形式にすると4・5年生が考え、正解したら称賛することができるからです。<br>◆ ガイドブック作成には、反対です。ガイドブックを作成するには時間が掛かります。<br>◆ 私は、ガイドブックには賛成です。ガイドブックをもらえた4・5年生はうれしいと思います。<br>◇ それでは、反対意見が無いクイズについては、実践するというところでよろしいでしょうか。<br>◆ はい。<br>◇ ガイドブックについて、もう少し意見をください。近くの人と2分間相談しましょう。意見をお願いします。<br>◆ ガイドブックに反対です。ガイドブックを見ながら歩くと、危険です。安全面も考えなくてはならないと思います。<br>8 決まったことの確認をする。<br>◇ 6年生がすべきことは、クイズ形式のガイドと事前の交流会、話題の準備に決まりました。詳細については、計画部で考え、後で伝えます。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>事前に、生活班で考えをまとめておくことで、全体で比べ合うことから話合いを始めさせる。</li> <li>計画部は、4つの班から出された計画案を事前に確認し、共通点や相違点を見付けておくことで、論点を整理しておく。</li> <li>デジタルホワイトボードで出された意見を提示し、進行役の児童が意図的に指名できるようにしておく。</li> <li>自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えたり、折衷案を出したりすることも必要であることについて助言する。</li> <li>本時で決定することができないことは、計画部で検討して提案することを助言する。</li> <li>賛成意見と反対意見がぶつかり、折り合いを付けることが難しい時は、提案理由を確認するように、計画部に助言する。</li> <li>意見が出てこない場合は、少人数で話し合わせる時間を設けることを計画部に伝えておく。計画部の児童には、グループでの話合いを観察し、全体での話合いに生かせるように、事前に助言しておく。</li> </ul> | 4, 5年生のことを考えながら、白石市観光ガイドを成功させるための工夫や取組や提案について話し合っ合意形成を図っている。<br>【思考・判断・表現】<br>（観察、学級会ノート） |

|                   |                |  |  |
|-------------------|----------------|--|--|
| 終<br>結<br>10<br>分 | 9 振り返りをする。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・合意形成までの過程について学級会ノートに振り返りを記入させ、意図的指名により数名に発表させる。</li> <li>・①合意形成したことへの価値付けや個人や集団への称賛、②今後の課題、③計画部へのねぎらい、④今後の見通しや実践に向けて等について簡潔に助言する。</li> </ul> |  |
|                   | 10 先生の話聞く。     |  |  |
|                   | 11 事後の活動を確認する。 |  |  |

(4) 本時の評価

| 評価規準 (B)   | 十分満足できる(A)   | 努力を要する児童(C)への手立て  |
|--|--|---|
| 4, 5年生のことを考えながら、白石市観光ガイドを成功させるための工夫や取組や提案について話し合っ合意形成を図っている。 | 4・5年生との交流を深めるために、折衷案を考えて発言したり、みんなの共感を得られるような考えを出したりしている。 | 学級会ノートを振り返らせたり、合意形成のポイントシートに目を向けさせて励ましの声掛けを行ったりしながら、自分の考えを伝えられるようにする。 |

(5) 準備物

- ①教師：タブレット、タイマー、電子黒板
- ②児童：筆記用具、学級会ノート〔別紙1〕

(6) 板書計画

**決まったことの確認**

- ・クイズ形式のガイド、交流会、話題の準備。

- ・話題や質問の事前準備。
- ・グループ毎の交流会

**めあて**

一人一人の思いや願いを尊重しながら、納得する話し合いをしよう。

**提案理由**

この機会を生かし、四・五年生と交流を深めるための工夫を話し合うことで、白石市観光ガイドがより充実した活動となるから。

**議題**

白石市観光ガイドを通して、四・五年生と交流を深めよう。

第五回 リスミ学級会

[別紙]

高学年<学級会ノート>

第 回 学級会ノート 月 日 ( ) 時間目

年 組 名前 ( )

|          |                       |     |      |       |
|----------|-----------------------|-----|------|-------|
| 議題       |                       |     |      |       |
| 提案理由     |                       |     |      |       |
| 話合いのめあて  |                       |     |      |       |
| 決まっていること |                       |     |      |       |
| 計画部      | 議長                    | 副議長 | 黒板書記 | ノート書記 |
| 話し合うこと   | 自分の考え（理由もしっかり書きましょう。） |     |      |       |
| (1)      |                       |     |      |       |
| (2)      |                       |     |      |       |
| (3)      |                       |     |      |       |

<振り返りましょう>

|       |  |           |        |
|-------|--|-----------|--------|
| 事前の活動 | ☆（計画部のみ）計画部として、自分たちで計画し、学級会を運営することができましたか。   | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |
|       | ☆探究の対話（p4c）では、議題について深く考えることができましたか。          | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |
| 学級会   | ☆学級会ノートに、自分の考えを書くことができましたか。                  | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |
|       | ☆「Jamboard」に自分の考えを書くことができましたか。               | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |
|       | ☆提案理由を意識して、話し合うことができましたか。                    | よくできた     | できた    |
|       | あまりできなかった                                    | できなかった    |        |
| 学級会   | ☆話し合いのめあてを意識して、話し合うことができましたか。                | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |
|       | ☆探究の対話（p4c）を生かして、友達の意見を尊重しながら、話し合うことができましたか。 | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |
| 実践    | ☆自分の意見を進んで発表できましたか。                          | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |
| 実践    | ☆折り合いを付けて、話し合うことができましたか。                     | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |
| 実践    | ☆提案理由を意識して、実践することができましたか。                    | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |
| 実践    | ☆学級の友達と協力して、実践することができましたか。                   | よくできた     | できた    |
|       |  | あまりできなかった | できなかった |

